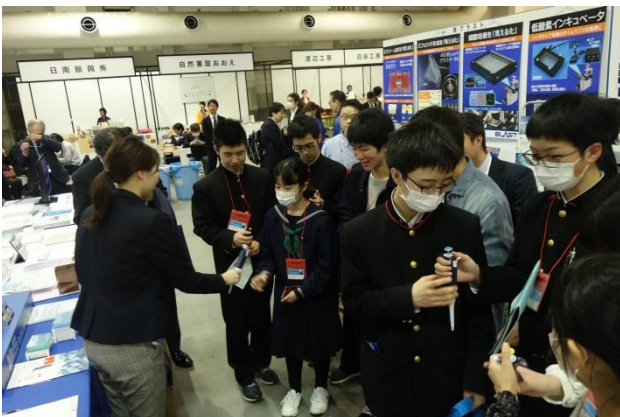


サイエンス部が「日本再生医療学会総会 中高生ポスター発表部門 金賞（1位）」を獲得しました

3月21日（木・祝）に「第18回 日本再生医療学会総会 中高生のためのセッション」が神戸国際会議場で開催され、中学サイエンス部3年生4名と高校生希望者8名の計12名が、学会見学ツアー（再生医療に関わる企業の展示ブース見学）やポスター発表・討論、講演会に参加しました。このイベントは再生医療への理解を深め、自己の将来、科学の真理探究や発展、社会への貢献など広い視野に立ち、研究者の卵として自由な発想で創造することを目的としています。

中学サイエンス部3年の4名（堀稜矢、吉見征泰、寺前翠琉希、竹澤慎人）は、中高生ポスター発表部門において、書類選考を通過し、「プラナリアの記憶力の継承について」の研究発表を行いました。発表した7チームの中で、唯一の中学生チームでしたが、審査の結果、独創的な観点が高く評価され、「金賞（発表した7チーム中1位）」を獲得しました。4名からは、「他のチームは中高生のものとは思えない高度な研究ばかりでしたが、その中で金賞を受賞することができ、とてもびっくりしました。」「再生医療の研究を行っている大学の先生方での発表は緊張しましたが、多くのアドバイスをいただくことができました。」などの感想がありました。今後のサイエンス部の活動につながる貴重な経験となりました。



高志中高生が合同で参加した企業ブース見学



審査員を前に行ったポスター発表



ポスター発表部門「金賞」を受賞